

平成 30 年 11 月 6 日

Press Release

東広島市
シャープ株式会社

**東広島市観光案内所でロボットを活用した
観光案内サービスを開始**

～日・英・中の3カ国語で観光地や特産品を紹介～

東広島市とシャープ株式会社(本社:大阪府堺市、代表取締役会長兼社長 戴正呉)は、東広島市観光案内所(JR西条駅 2 階)において、シャープのモバイル型コミュニケーションロボット「RoBoHoN(ロボホン)」[※]を活用した観光案内サービスを、本日 11 月 6 日より開始します。

【経緯】

東広島市が実施する IoT 活用による産業振興施策において、コミュニケーションロボットを観光振興施策に活かそうと試みるものです。ロボット観光ガイドの選考にあたり、「IoT 活用による産業振興に係るロボット機種選定委員会」が設置され、シャープの「ロボホン」が選定されました。

【目的】

ロボット観光ガイドは、近年増加している外国人観光客に向けて多言語で東広島市の観光案内を行い、東広島市内における周遊を促進します。また、観光博覧会といった展示会等の会場へも設置され、東広島市のPRの一環としても活用されます。

【内容】

「ロボホン」が、東広島市の観光地や特産品について音声で案内します。「日本語」「英語」「中国語(簡体)」に対応し、話しかけられた挨拶に合わせて言語が自動で切り替わります。また、タブレット端末が接続されているので、写真や動画を用いて説明ができます。さらに、ダンスや歌、会話などもお楽しみいただけます。

※ 「ロボホン」について (<https://robohon.com/>)

「ロボホン」は、会話のできるモバイル型ロボットです。二足歩行が可能なヒューマノイドロボットとしては極めて小型のサイズ(身長約 19.5cm)を実現し、外出先にも持ち運んで使用できます。身振り手振りを交えての会話や、内蔵のカメラや小型プロジェクターを使い、様々な用途活用が可能です。